

特定非営利活動法人地域生活支援協会

業種	医療・福祉	事業所所在地	山形県米沢市	資本金	
		売上高	～10,000万円	従業員数	15名

 	被承継者（左）		
	高橋 哲男	68歳	※承継時
	承継者（右）		
	鈴木 大士	40歳	※承継時

事業承継を行った時期	被承継者と承継者の関係	
2019年5月	その他の親族外	
承継前の主たる事業の内容	承継前の主たる事業の課題	
有償ボランティア事業	・新市場への参入	有償ボランティアだけでは事業収入が細く、安定してサービスを提供するための組織体制を構築することは難しかった。

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 1年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
承継者が、前職で公的保険サービス事業を運営していた経験を活かし、当事業所の新しい主体サービスにすることで安定した事業運営を行える体制を構築し、今まで行ってきたボランティア事業を公的保険サービスにかけ合わせることで、きめ細かなサービスの提供に活かすことができると考えました。また、自事業所だけではなく多業種の地域事業者の力を借り、支援ネットワークを拡げることで生活全般の課題解決策をワンストップで提案、提供できる事業者として新しい事業価値を創造できると考えました。	<ul style="list-style-type: none"> 安定した組織体制を整備するためにどうするか 今まで続けてきた事業をどう活かしていくか ソーシャルサービスの一端を担うNPO法人として何ができるのか 	特になし
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	特になし	新規事業＝主体事業のため、新規事業の進捗が経営に直結していたので計画通りに事業が進んでいくか不安がありました。

これに一番苦労した！
他地域から比べれば感染者は少ないものの新型コロナウイルス感染症の影響により思うように活動ができない面も多く、加えて当会の事業は対面サービスであることから感染予防対策や、一部業務のリモートワーク導入、従業員のメンタルサポート等に苦労しました。

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
いつから相談？	認定経営革新等支援機関以外特になし。
承継実行の 年前	
相談のきっかけ	

経営革新等に係る取組の標題

「公的保険サービス×ボランティアサービス」による安心・快適な生活の支援

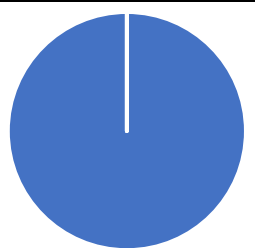
経営革新等に係る取組の内容	その他の新たな事業活動
---------------	-------------

●当事業所は、高齢者、障がい者の生活支援を目的とした有償ボランティアを行い、2014年度からは最も要望が高かった冬期間の除雪ボランティアに集約して事業を継続してきました。しかしながら、年々人員の確保が難しくなり事業の継続が危ぶまれていました。

●そこで、公的保険サービスを新たな主力事業とすることで事業運営の安定を図る計画を立てました。これにより、従業員を継続して雇用することで単体サービスでは安定性を確保することが困難だった有償ボランティアを、公的保険サービスだけでは補いきれない日常生活における不便や課題を解決する補完的サービスと位置付けて継続するとともに、在宅生活を支援するための厚みのあるサービス体制を作ることが出来ました。

●さらには、当事業所がプラットフォームとなって多業種の地域事業者の力を借りながら支援ネットワークを拡げることで、当事業所では対応が難しい課題に対しても専門的な解決策をワンストップで提案、提供できる体制も少しずつ出来てきました。これからも事業の拡充と共に多くの地域事業者に参加していただきながら支援ネットワークを拡げていくことで、生活課題の解消、地域経済の活性化の一助を担っていきたくて考えております。



地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
公的保険事業により、事業体制が安定することから雇用創出、事業の拡充に伴い雇用者数の増加につながる。資格保有者がボランティアの提供にも携わることで専門的知識と技術を活かし、地域福祉の向上に貢献できる。また、ご利用者の心身に関するサービスだけでなく、生活環境や住環境の改善等の分野においても多業種の地域事業者との連携し、支援ネットワークを構築することで課題解決と共に連携事業者の事業活性化に貢献できる。	<p>■ 人件費</p>  <p>経費の主な使い道</p> <p>人件費</p>

認定経営革新等支援機関の名称：米沢商工会議所			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input type="checkbox"/> 補助事業の実施

制度の理解を深めたり、書類作成の方法についての相談。連携事業所とのスムーズな取り決めができるよう事業者との連携の方法についてアドバイスをいただきました。

今後に向けて～次の目標	
2020年から2023年に向けて	自事業所の事業安定化はもちろんのこと、自事業者では取り組めない課題については地域事業者の力を借りて、多方面から生活を支援していける支援ネットワークの拡充を図りたいと思います。
売上高 50 %UP	

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
特定非営利活動法人として地域社会に貢献できるよう前職の経験を活かしながら、他地域などの様々な活動も参考にしながらしっかりと取り組んでほしい。	事業承継のタイミングで新たな取り組みを考えてみることは、事業に込めた想いも継承する良いきっかけになると思います。今までの事業を活かしながら承継者の考えや経験を思い切って発揮することが大切だと思います。